

ふくおかの経済

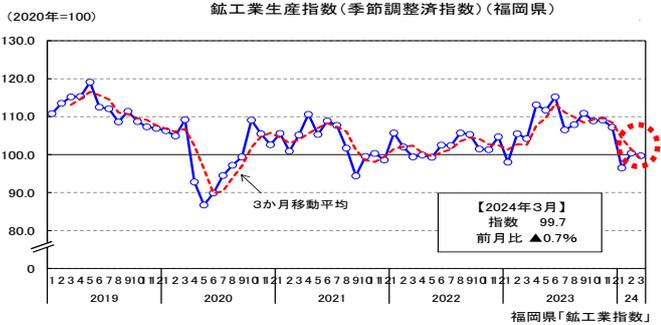
令和6年5月号



生産

このところ弱含んでいる。

3月の生産指数は、化学・石炭製品工業、電気機械工業などが低下したため、2か月ぶりに前月を下回りました。

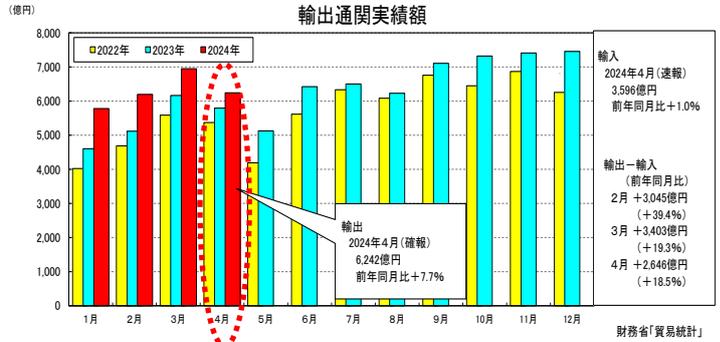


鉱工業生産指数は、2020年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

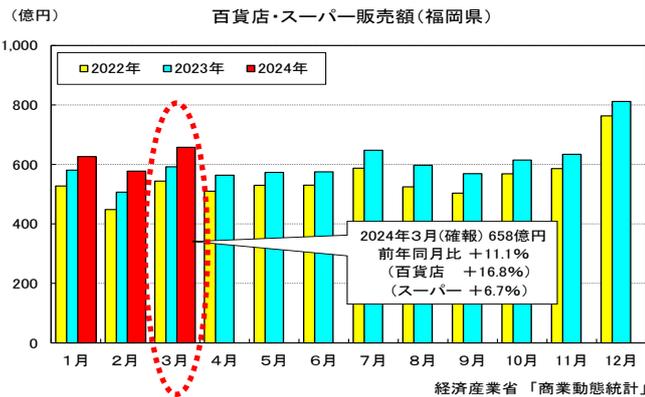
4月の輸出額は、前年同月比+7.7%、輸入額は同+1.0%といずれも前年同月を上回りました。



消費

緩やかに回復している。

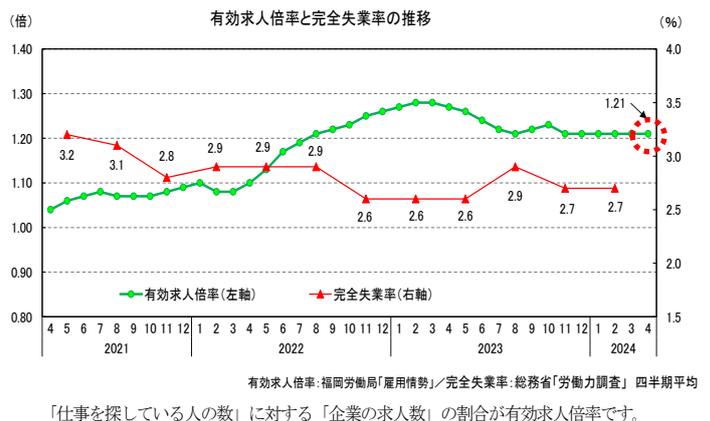
3月の百貨店・スーパー販売額は、30か月連続で前年同月を上回りました。



雇用

雇用情勢は、改善している。

4月の有効求人倍率は1.21倍で、前月と同水準となりました。

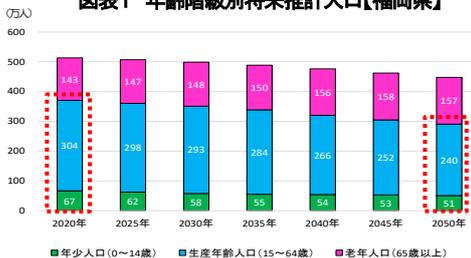


有効求人倍率:福岡労働局「雇用情勢」/完全失業率:総務省「労働力調査」四半期平均「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。

今月のトピック 外国人労働者の獲得

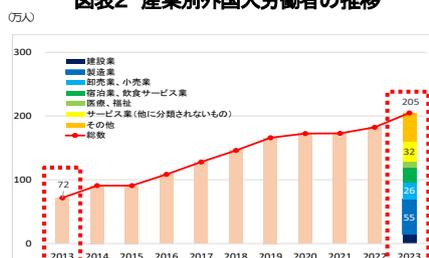
- 日本では現在、生産年齢人口(15歳~64歳)の減少が懸念されており、福岡県においても2020年の304万人から、2050年には240万人に減少するものと推計されています(図表1)。それに伴って外国人労働者の雇用が注目されており、全国的にその数は増加しているところ(図表2)、福岡県でも外国人労働者数は、2013年の1.6万人から2023年には6.5万人(全国8位)と、10年間で約4倍となりました。
- その一方で、外国人労働者は、日本の雇用慣行等に関する知識不足、言語や文化等の相違による法令違反や労働条件等のトラブルが生じやすく、また、それを言語面等の問題から相談することが難しいという現状があります(図表3)。
- 福岡県では、外国人向けポータルサイト「FUKUOKA IS OPEN」や外国人の生活や就労等に係る相談体制を強化するためのワンストップ相談窓口の開設などを打ち出しており、これらを通じて、一人でも多くの外国人労働者を獲得できるよう取り組んでいくことが重要です。

図表1 年齢階級別将来推計人口【福岡県】



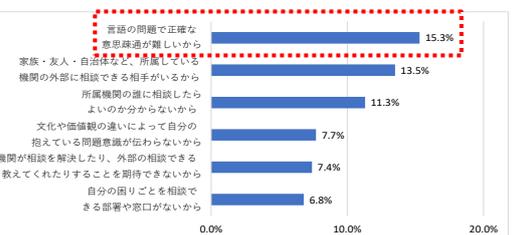
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」より作成

図表2 産業別外国人労働者の推移



厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況まとめ(令和5年10月末時点)」より作成

図表3 外国人が所属機関等に相談しない理由について



法務省「在留外国人を対象とした調査(令和5年度)」より作成